

田中 克周 議員

旧東海道沿い新町地区の 空地・空家対策は

Q 問 同地区の「にぎわい新都心まちづくり計画」の位置づけと進捗状況はどうか。

A 答 旧東海道袋井宿の歴史を活かした町並みの再生や新たな観光資源として集客力を高める取り組みを行う東海道ゾーンと位置づけた。現在、地元市民とのワークショップにより、2016年袋井宿開設400年祭を視野に入れた「どまん中ふくろいまちづくり計画基本構想」の策定を進めている。

Q 問 民間資本がマンション等を建築する前に手を打つべき、と考えるがどうか。

A 答 土地取得にはタイミングの問題もある。策定中の「どまん中ふくろいまちづくり計画基本構想」の方針等に基づき、先行取得について検討する。

「財政健全化法」の重要性を 認識すべきと考えるが

Q 問 公表される指標から、袋井市の財政運営はどのように影響を受けるのか。

A 答 18年度決算では、実質赤字比率はゼロ、連結実質赤字比率はマイナス34.1%、実質公債費比率が16.8%であり、健全であるとする。今後も健全性の維持に努める。



旧東海道沿いの新町地区

鈴木 妙子 議員

妊婦無料検診拡大への取り組みは

Q 問 安心して子供を産み育てる環境を整備するため、妊婦検診の公費負担を現状の2回から拡大してはどうか。

A 答 市民病院でも分娩できない等の事情もあり、妊婦の健康診査については、大変重要なものと考えている。公費負担を県が示す5回に加え、上乗せを実施するための医療機関との調整も必要。そうしたことも来年度の予算に向けて検討していきたい。

公園の管理状況はどうか また情報発信してはどうか

Q 問 公園砂場の管理と衛生対策はどうか。

A 答 専門業者による清掃や薬剤消毒を2年に1度実施しており、適宜砂の補充も行っている。今後も、定期的に清掃や消毒を実施し、清潔な砂場を維持していきたい。

Q 問 公園をより多くの市民が利用でき、市内にどんな公園があるか知ってもらうためにも公園マップを作成してはどうか。

A 答 公園マップの作成やホームページによる情報発信は大変有効なものとする。可能なものから実施をしていきたい。



子供たちの遊び場となる公園の砂場